

1、日時

平成 23 年 8 月 22 日～24 日

2、場所

宮城県気仙沼市内の私立幼稚園 2 園

宮城県気仙沼市内の公立幼稚園 1 園

宮城県石巻市雄勝・河北地区の乳幼児健診

3、支援の内容

①私立幼稚園 2 園

経営母体が同じ 2 園で震災当初から定期的に訪問している園です。

海沿いにあったほうの園が全壊したため現在 1 園に合併して保育をしている。

今回は先月開催した気仙沼私立幼稚園職員研修会（キッズヨガ研修を実施）の感想や、実際に子どもたちに使用した感想をお伺いした。

過覚醒症状のある子どもたちが遊んだ後、リラックスを目的としたヨガを保育に取り入れたところ、昼寝が良くなるようになり情緒安定につながったと報告があった。また保護者に簡単な子どものヨガを伝えることでコミュニケーションがより深まったという感想をいただくことができた。

この園には母を津波で亡くした女兒と、父を亡くした男児が在籍しており、彼らへの声かけや対応方法について日々悩むことが多いということであった。先生方は自らも被災者でありながら子どもたちの未来を常に考えながらよい対応をされており、後方支援にきているはずの自分たちのほうが励まされたような訪問となった。

この園では来月にまた子どものストレスアンケートを実施し、情報を共有する予定にしている。

②公立幼稚園

こちらの園も気仙沼市内にあるが、半島の付け根にあったため津波で全壊し近くの小学校の音楽室を借りて保育を再開している。実際に津波を見たり被害にあった子ども、血縁者を亡くした子どもはいないが、余震に過剰におびえたり、イライラや癩癩が依然にましてひどい子どもが増えている様子であった。保護者記入式の子どものストレスアンケートの結果を報告し、注意が必要な子どものリストを作成した。保護者へも結果を報告し、次回は保護者からの個別相談を実施する予定としている。

③石巻地区乳幼児健診

先月から再開した石巻雄勝・河北地区の乳幼児健診に参加した。

健診には県外からの保健師も応援に来ており、気になる家庭の全戸訪問を震災以後継続している。子どもの健診を通して、母親のうつ傾向を見逃すことなく対応しようと東北大学の精神科グループも参加している。

今回は1件の個別相談があった。震災に直接関わるような症状ではなかったが、母親の心配を軽減できるようお話をした。

保健師によると、市内の小児科はかなり回復しており診療を再開しているが、予防接種がまだ再開されておらず、Hib ワクチンや肺炎球菌ワクチンなどを接種する時期を逃す乳児が多いことを心配されていた。

ジャパンハートでは10月～11月、今年の冬に間に合うように診療所を石巻に開設予定であり、土日の予防接種外来が急務であると感じた。